

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 4
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	女川駅周辺駐車場整備事業（平成27年度分事業費）
全体事業費	129,527千円
<p>【事業内容】 女川町では、復興計画に基づき高台住宅団地整備や機能集約によるコンパクトな市街地形成を図るとともに、商業・観光施設整備等の新たな町づくりを進めている。 アクセス性に優れた町中心部に各機能（女川駅、商業施設、交流施設、公共施設等）を集約することとしており、町民生活、商業、観光面からも多くの方々が集まる場の整備を行うため駐車場は必須の機能であることから、女川駅周辺町中心部への駐車場整備を行うものである。 整備予定の駐車場（4ヶ所）のうち先に申請済の2ヶ所（①・②駐車場）に続き、今回、設計が完了した駐車場2ヶ所（③・④駐車場）の整備を行うため工事費を申請する。</p> <p>【基幹事業との関連性】 町中心部では、津波復興拠点整備事業、女川町被災市街地復興土地区画整理事業等により基盤整備を行うとともに、津波復興拠点支援施設整備、まちなか再生計画及び津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金によるテナント型商業施設整備計画を進めている。 市街地整備事業と連携し、にぎわいの創出とコンパクトで持続可能な市街地形成を図り、地域経済の拠点として復興まちづくりを推進するものである。</p> <p>（平成27年度） 89,370千円</p> <p>【既に申請済】 女川駅周辺駐車場整備設計業務委託 5,378千円 （当初12,000千円、▲6,622千円）</p> <p>第1期分 整備駐車場（2ヶ所 ①・②駐車場） 事業名 女川駅周辺駐車場整備事業（※先行整備2ヶ所分） 事業期間 平成27年10月から平成28年2月 事業費 43,370千円 事業内容 設計面積：2ヶ所 合計2,203㎡ 予定台数：64台分</p> <p>【今回申請分】 第2期整備駐車場（③駐車場） 事業名 女川駅周辺駐車場整備事業（第2期） 事業期間 平成28年1月～平成28年3月 事業費 40,622千円 事業内容 設計面積：3,360㎡ 予定台数：80台分</p> <p>（平成28年度） 40,157千円</p> <p>第3期整備駐車場（④駐車場） 事業名 女川駅周辺駐車場整備事業（第3期） 事業期間 平成28年4月～平成29年3月 事業費 40,157千円 事業内容 設計面積：2,944㎡ 予定台数：65台分</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 42
要綱上の事業名称	(4) 被災地復興のための土地利用計画策定促進事業
細要素事業名	埋蔵文化財発掘調査事業 (平成27年度分事業費)
全体事業費	53,509 (千円)
<p>【事業内容】 女川町では、町民の生活・財産を守ることを第一に安全な高台居住地への集団移転を計画している。高台居住地である内山、石浜の両地区内には、それぞれ内山遺跡、崎山遺跡があることから、土地区画整理事業を実施するため両遺跡の埋蔵文化財発掘調査が必要となり、平成26年度に発掘調査を実施してきた。 本事業は、両遺跡の発掘調査で出土した遺物の整理作業及び発掘調査報告書作成を行うものである。 今回は、内山遺跡第2次調査の遺物一次整理が終了し、業務量が確定したことから内山遺跡第2次調査の遺物二次整理を申請するもの。 ・一次整理・・・遺物の水洗いや接合等の基礎整理作業 (洗浄、注記、接合) ・二次整理・・・出土遺物を報告書に掲載するために資料化 (図化) する作業 (実測、トレース、拓本、写真撮影) ・動物遺存体整理・分析・・・出土した動物遺存体の特徴を報告書に掲載するために必要な一連の作業 (洗浄、抽出、同定、計測、記録、原稿執筆) ・発掘調査報告書の印刷・刊行</p> <p>【基幹事業との関連性】 中心部被災市街地復興土地区画整理事業の事業実施にあたり、文化財保護法により埋蔵文化財発掘調査を実施し、その調査で出土した遺物を適切に整理・保管するとともに、報告書を刊行するものである。</p> <p>【事業費】 (平成27年度) 30,509千円 【内訳】 ・既に申請済み ①内山遺跡第2次調査の遺物一次整理 1,728千円 ②内山遺跡第2次調査の動物遺存体整理・分析 3,780千円 ③崎山遺跡の遺物一次整理 15,973千円 ④内山遺跡第1次調査の遺物二次整理 6,598千円 ・今回申請分 ⑤内山遺跡第2次調査の遺物二次整理 2,430千円 (当初1,983千円 ▲255千円)</p> <p>(平成28年度) 23,000千円 【内訳】 ・以下の業務は、内容 (業務量) が確定していないため概算である。 ⑥崎山遺跡の遺物二次整理 20,000千円 ⑦発掘調査報告書の印刷・刊行 (内山遺跡) 1,500千円 ⑧発掘調査報告書の印刷・刊行 (崎山遺跡) 1,500千円</p> <p>【事業期間】 平成27年8月～平成28年3月</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業 (当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。) について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 44
要綱上の事業名称	(25) 市街地復興関連小規模施設整備事業
細要素事業名	国道398号線における防犯灯整備事業 (平成27年度分事業費)
全体事業費	8,918千円
<p>【事業内容】 震災による津波被害によって国道398号線の歩道に設置していた防犯灯が流失したため、地域住民の生活と道路交通の安全性を確保するために防犯灯を整備するものである。 国道398号線については、住民の生活路を確保するため、整備延長(3,700m)を5つの区間に分割し段階的に施工することとしており、この進捗にあわせ防犯灯整備を行う。 今回の申請では、平成27年8月末に竣工した「398号線バイパス①」区間に設置する防犯灯について申請するものである。</p> <p>【基幹事業との関連性】 本事業により防犯灯を整備することで、都市再生区画整理事業等により新たに誕生する住宅地から駅周辺エリアまでの住民生活等の安全性を確保するものである。</p> <p>【事業費】 H27年度：664千円 ・ 区間①バイパス①＝10灯*(69,500円-8,000円)*1.08＝664,200円≒664千円 ※電力柱 ※震災前は、当該区間に防犯灯が10灯ありました。</p> <p>※以下は電柱の本数が確定していないため概算である。 H28年度：5,028千円 ・ 区間④海岸沿い＝20灯*69,500円*1.08＝1,501,200円≒1,501千円 ・ 区間⑤宮ヶ崎・石浜線＝47灯*69,500円*1.08＝3,527,820円≒3,527千円 H30年度：3,226千円 ・ 区間③本線＝28灯*69,500円*1.08＝2,101,680円≒2,101千円 ・ 区間②バイパス②＝15灯*69,500円*1.08＝1,125,900円≒1,125千円</p> <p>【事業期間】 平成28年1月～平成28年3月</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 2 - 5
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	女川駅周辺駐車場整備事業（平成28年度分事業費）
全体事業費	129,527千円
<p>【事業内容】 女川町では、復興計画に基づき高台住宅団地整備や機能集約によるコンパクトな市街地形成を図るとともに、商業・観光施設整備等の新たな町づくりを進めている。 アクセス性に優れた町中心部に各機能（女川駅、商業施設、交流施設、公共施設等）を集約することとしており、町民生活、商業、観光面からも多くの方々が集まる場の整備を行うため駐車場は必須の機能であることから、女川駅周辺町中心部への駐車場整備を行うものである。 整備予定の駐車場（4ヶ所）のうち先に申請済の2ヶ所（①・②駐車場）に続き、今回、設計が完了した駐車場2ヶ所（③・④駐車場）の整備を行うため工事費を申請する。</p> <p>【基幹事業との関連性】 町中心部では、津波復興拠点整備事業、女川町被災市街地復興土地区画整理事業等により基盤整備を行うとともに、津波復興拠点支援施設整備、まちなか再生計画及び津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金によるテナント型商業施設整備計画を進めている。 市街地整備事業と連携し、にぎわいの創出とコンパクトで持続可能な市街地形成を図り、地域経済の拠点として復興まちづくりを推進するものである。</p> <p>（平成27年度） 89,370千円（★D15-2-4） 女川駅周辺駐車場整備設計業務委託 5,378千円 （当初12,000千円、▲6,622千円）</p> <p>第1期分 整備駐車場（2ヶ所 ①・②駐車場） 事業名 女川駅周辺駐車場整備事業（※先行整備2ヶ所分） 事業期間 平成27年10月から平成28年2月 事業費 43,370千円 事業内容 設計面積：2ヶ所 合計2,203㎡ 予定台数：64台分</p> <p>第2期整備駐車場（③駐車場） 事業名 女川駅周辺駐車場整備事業（第2期） 事業期間 平成28年1月～平成28年3月 事業費 40,622千円 事業内容 設計面積：3,360㎡ 予定台数：80台分</p> <p>【今回申請分】 （平成28年度） 40,157千円</p> <p>第3期整備駐車場（④駐車場） 事業名 女川駅周辺駐車場整備事業（第3期） 事業期間 平成28年4月～平成29年3月 事業費 40,157千円 事業内容 設計面積：2,944㎡ 予定台数：65台分</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。